

## 2017年度入試直前動向②～国立大の学部再編の影響～

河合塾

2016/12/20

前号に続き来春（2017年度）入試の展望をお伝えする。今号では、国立大の学部再編・新設に伴う動きとその影響について取り上げる。

## ■相次ぐ国立大の学部再編・新設の動き

国立大では、「国立大学改革プラン（2013.11 文部科学省）」を踏まえた改革が進められている。また、2015年6月に文部科学大臣名で各大学に送付された通知において、組織の改廃を含めた積極的な取り組みが改めて求められたこともあり、2016年度以降、教員養成系および人文社会系の学部を中心に、再編・改革の動きが盛んである。

2017年度は、①教育学部総合科学課程の廃止（教員養成課程へ特化）、②文系学部から理系学部への入学定員シフト、③これまでにない新しい学部の新設、といった動きが目立つ。

## ① 教育学部総合科学課程の廃止

茨城大、横浜国立大、新潟大、熊本大、鹿児島大、琉球大の6大学で総合科学課程が廃止される。一部の大学では教員養成課程の入学定員を増員するが、新設を含む他学部へ定員を振り替える大学もあり、教育学部の定員は縮小傾向にある。特に総合科学課程の入学定員は2014年度から約6割減となる。

2017年度はこれまでになかった動きとして、総合科学課程を新しい課程や学科に再編する大学がある。愛知教育大は現代学芸課程を廃止し、教員とともに子どもの教育を支える専門職の養成を目指す、教育支援専門職養成課程を設置する。また、大阪教育大は教養学科を廃止し、教育協働学科を設置する。両大学に共通するのは、総合科学課程も教員をサポートする人材を養成するという点である。

## ② 文系学部から理系学部への入学定員シフト

理系学部の学部・学科再編も盛んであり、東京海洋大では海洋資源環境学部が新設されるほか、高知大では理学部を理工学部へ、大分大では工学部を理工学部へといたった学部改組が見られる。また、新潟大（理、工、農）、三重大（生物資源）など学科改組の動きも盛んだ。これらの改組に伴い、文系から理系への定員シフトの動きも見られる。受験生にはあまり知られていないが、国立大では文系学部の定

【図表1】2017年度 主な学部・学科の再編・新設を行う国公立大とその入学定員と一般入試募集人員の変化

大学	学部	入学定員	募集人員	
			前期日程	後期日程
山形	人文社会科学	290 (-10)	190 (-8)	30 (-22)
	地域教育文化	175 (-65)	110 (-40)	25 (-14)
	理	210 (+25)	136 (+8)	30 (+10)
	工	600 (+30)	371 (-10)	69 (+10)
	農	165 (+10)	95	30
茨城	人文社会科学	360 (-35)	195 (-15)	100 (-15)
	教育	275 (-75)	161 (-33)	64 (-24)
	工-A	505 (+40)	274 (-30)	185 (+70)
	工-B	40	21 (-7)	14 (+7)
	農	160 (+45)	107 (+32)	29 (+12)
東京海洋	海洋工	160 (-15)	91 (-5)	43
	海洋生命科学	170 (-105)	102 (-65)	44 (-26)
	海洋資源環境	105 (+105)	66 (+66)	27 (+27)
横浜国立	経済	238 (+8)	125 (-15)	90
	経営	287 (+12)	128	98 (-15)
	経営一夜			
	教育	230 (-150)	160 (-100)	
	理工	659 (-86)	358 (-49)	260 (-19)
	都市科学	248 (+248)	119 (+119)	62 (+62)
新潟	教育	220 (-150)	144 (-92)	36 (-37)
	理	200 (+10)	133 (+10)	32 (-2)
	工	530 (+50)	349 (+31)	71 (+6)
	農	175 (+20)	111 (+11)	30 (+4)
	医	282	176 (+13)	20 (-13)
	創生	65 (+65)	45 (+45)	10 (+10)
名古屋	工	680 (-60)	614 (-52)	
	情報	135 (+60)	113 (+54)	
三重	人文	245 (-20)	167	56 (-6)
	生物資源	260 (+20)	136 (+10)	55 (+5)
滋賀	経済	410 (-90)	150 (-50)	200 (-40)
	教育	230 (-10)	134	24 (-10)
	データサイエンス	100 (+100)	60 (+60)	20 (+20)
京都	工	955	907 (-8)	
	農	300	282 (-15)	
	医	207 (-43)	172 (-57)	
神戸	文	100 (-15)	80 (-10)	20 (-5)
	国際人間科学	370 (-50)	243 (-50)	76 (-10)
	理	153 (+13)	115 (+13)	38
	工	565 (+25)	452 (+32)	113 (-7)
	農	160 (+10)	122 (+6)	33 (+4)
	海事科学	200	140 (+20)	47 (+7)
	医	272	213 (+25)	30 (-10)
熊本	文	170	115 (-2)	23 (-7)
	法	210	155 (-10)	25
	教育	230 (-60)	173 (-35)	14 (-5)
	理	200 (+10)	150	40
鹿児島	工	513	333 (-11)	48
	法文	410 (+15)	280 (+27)	48 (-12)
琉球	教育	215 (-60)	162 (-25)	33 (-9)
	教育	140 (-50)	90 (-43)	13 (-9)
	工	350 (+30)	206 (-34)	40 (-1)
	工一夜			
	農	140 (+10)	87 (+5)	21

員が減少し、理系学部の変員が増加している。山形大では、人文社会科学部と地域教育文化学部の入学定員が減少し、理学部、工学部、農学部が増員する。

### ③ これまでにない新しい学部の新設

2017年度に新設される学部のうち、新潟大の創生学部、滋賀大のデータサイエンス学部は、これまでになかった新しい学部である。新潟大創生学部は、既存の理・工・農・人文・法・経済の6学部が提供する22分野の専門科目群を選択できる。滋賀大データサイエンス学部は、従来の情報学、統計学に留まらない高度なデータの分析・活用ができる人材の育成を目指すとしている。両学部とも文・理系生どちらでも受験できる科目設定になっている。

ただ、これまでにない学部であるがゆえ、学べる内容が受験生に伝わりにくく、注目度はそれほど高いとはいえない。

これら①～③の大学では既存の学部・学科を含めて募集人員が大きく変更されているため注意が必要だろう。

【図表1】は主な学部再編大の一般入試の募集人員の変化をまとめたものである。

### ■学部再編に伴う志望動向への影響

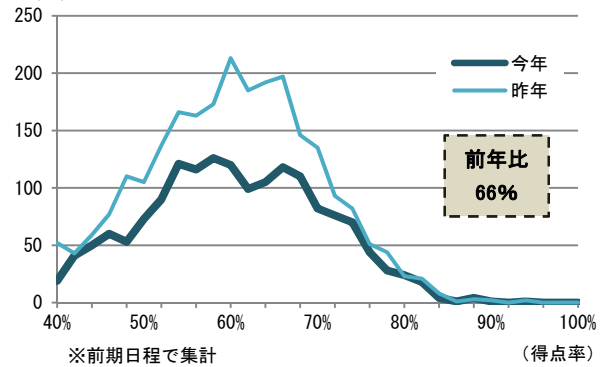
こうした学部再編・新設や入学定員の変更に伴い、志望動向も大きく変化することが予想される。

【図表2】は、募集停止が相次いでいる教育学部総合科学課程志望者の第3回全統マーク模試における成績分布の変化である。募集停止大の影響により、志望者数は前年比66%と大幅に減少している。こうした受験者層が他の学部系統へ流れることが予想されるが、模試の時点では「総合・環境・情報・人間」の各分野、「文・人文」の心理分野、「社会・国際」の社会分野などで志望者の増加が見られた。

個々の大学で見ると、募集人員の変化と受験生の志望動向が一致していないケースが見られる。【図表3-A】は、茨城大の前期日程の募集人員と志望者数の変化を見たものである。人文社会科学部は人文学部を改組して誕生する。募集人員が減少するにもかかわらず、志望者数は1割以上増加している。一方、募集人員が大きく増加する農学部では志望者は前年並みにとどまる。このように、募集人員の変化と受験生の志望動向が一致していないケースは、他大学でも見られる。

先ほど滋賀大の新設学部を紹介したが、【図表3-B】は滋賀大の募集人員と志望者数を比較したものの。経済学部では大幅な募集人員減となるものの、系統人気もあり、志望者は1割以上増加している。一方、新設のデータサイエンス学部は他2学部と比べ、志望者が集まっていないことがわかる。

【図表2】第3回全統マーク模試  
教育学部総合科学課程志望者分布



【図表3】第3回全統マーク模試 学部再編・新設大の志望動向例  
A: 茨城大(前期日程)

学部・学科	募集人員			志望者数			
	昨年	今年	前年比	昨年	今年	前年比	
人文社会科学部(旧:人文学部)	210	195	93%	654	735	112%	
教育学部	学校教育	129	144	112%	445	434	98%
	養護教諭	15	17	113%	65	55	85%
	情報文化	36	-	-	66	-	-
	人間環境教育	14	-	-	64	-	-
農学部	75	107	143%	160	162	101%	
工学部(A)	304	274	90%	432	400	93%	

B: 滋賀大(前期日程)

学部	募集人員			志望者数		
	昨年	今年	前年比	昨年	今年	前年比
経済学部(昼間主)	200	150	75%	566	637	113%
教育学部	134	134	100%	259	278	107%
データサイエンス学部	-	60	-	-	61	-

以上のように、現時点ではこれら再編大の変化に対して受験生の志望動向が連動していない様子が見られる。志望動向は、出願直前期まで変化が予想されることから、周辺大を含めてセンター試験後の志望動向を集計する河合塾「センター・リサーチ」の状況を参考に受験を検討してほしい。